

社会福祉法人イースターヴィレッジ
自立援助ホーム マルコの家

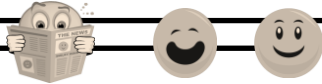
「自立援助ホーム マルコの家」は、様々な理由で
家庭からの援助を受けられない15～20歳迄の
子ども達の社会自立を支援する施設です。

のどせしんど!



マルコの家通信

No.6 2012. 12



マルコALBUM

子ども達の自立支援の
為、ご寄付のご協力を
お願い致します。

自立援助ホーム マルコの家

〒328-0042

栃木県栃木市沼和田町14-28

☎・FAX 0282-21-7740

Email:info-marc@easter-village.or.jp

振込先 ゆうちょ銀行

口座番号00150-6-774249

加入者名マルコの家(マルコノイエ)

※2,000円/年以上の

寄付をされると

法定控除が受けられます。



何人のお客様に来て頂けるか不安でいっぱいでしたが、会場にはたくさん
のお客様が来て下さいました。急遽、椅子を増やして、歓喜に沸きました。

いよいよ待ちに待った第1回チャリティーコンサートが幕を開けました!!
11時から18時まで、一緒に協力して下さいましたボランティアの皆様。
本当にありがとうございました!!

当日、修正を行ったパンフレット。→



今回のチャリティーコンサートは、
スペイン政府観光局のお墨付きと言う事で、
スペインの象徴となる何種類かのポスターを頂き、展示しました。
どれもとても素敵なもので、お客様も足を止めて観ていました。
スペイン政府観光局の皆様、本当にありがとうございました。

チャリティーコンサートの締めくくりには、皆で一緒にお楽しみ抽選会!!

マルコの家では、「ザ・ボディショップ」さんより助成金を頂きました。

贈呈式でチャリティーコンサート開催のお話しをしたところ、

とても可愛い「タオルセット」を沢山送って頂きました。

助成金以外にタオルセットまで!!??と驚き、感謝の気持ちで

胸がいっぱいになりました。本当にありがとうございました。



「フラメンコVIVO」の皆さんと、職員・ボランティアの皆で記念撮影!!!



中央にいらっしゃるの、ギターを弾いて下さった中川浩之さんです!
今回、初の試みでチャリティーコンサートを企画し、快く受けて下さり、
本当に心から感謝しています。VIVOの皆様の熱い情熱のこもった踊り、
中川さんの奏でる心地よいギターの音色に、誰もが魅了され、胸弾みました。
「ありがとうございます」だけでは足りないですが、「ありがとうございました」。

急なオファーにも関わらず、フィリピン舞踊を披露してくださった、エレン・
ブエナビスタさん、ロイナ・小堀さん。タンバリンを使った舞踊は、異国の
不思議な雰囲気を漂わせ、みんなで手拍子をして盛り上がりました。素敵でした!
「newyork newyork」を歌って下さったセシル・熊村さん、最後には伸びやかな
な歌声で、観客からの拍手が沸き起こりました!!ありがとうございました!!



第1回フラメンコチャリティーコンサートを無事終える事ができたのは、協力して下さいました皆様のお陰です。
約半年間、職員一同、この日の為に準備をしてきましたが、お客様が来て下さるかとても不安でした。それ
でも、マルコの家を知ってもらおうと開催したコンサート。大盛況の中、幕を閉じることができました。感謝!!



マルコの家にと、花王株式会社様より、洗剤やハンドソープ、洗髪ソープ等を寄付して頂きました。子ども達が8人いると、洗濯洗剤は1箱半月持つか持たないかの瀬戸際です。日用消耗品は、本当にすぐに無くなってしまふので、寄付をして頂けて、本当に助かっています。

普段は使う事の出来ない高級品です!(笑)

子ども達は服も髪も手も「わあ〜!!!いい匂い〜♪」と喜んでます。

本当にありがとうございました。大切にに使わせて頂きます。

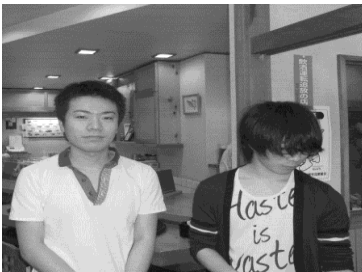
アサヒワンピールクラブさんより、助成金を頂いた事は前回のマルコ通信でご報告させて頂きましたが、その後なんと、新商品のお菓子を子ども達にと送って頂きました(o^▽^o)!! ホームでは子ども達にお菓子を買ってくる事は、まずありません。仕事から帰宅した子ども達が、お菓子の箱を見て大興奮!!疲れた身体には甘いのが染み入るようで…。あっ!!という間に完食(笑)とても美味しいいただきました本当に、こんなに良くて下さって、ありがとうございました。心より感謝をこめて…。



「栃木県共同募金会」様より、平成23年度共同募金の受配によって、マルコの家初の公用車を購入させて頂きました!!!ピカピカの新車が嬉しくて、子ども達だけでなく、職員もにっこり&大興奮\(^0^)/いつも乗る度に「新しい車の臭いがする〜!!」と笑い合っています♪♪車を購入するというのは、ホームではとても難しいことでした。ですが、長い目で見ると車が必要となるのは、わかっていたはいました。しかし先立つものが無いのも事実でした。そんな中、多額の助成金を頂けて、感謝の一言では言い尽くせません。大切に大切に、乗り続けます。ありがとうございました。

♡花王ハートポケット倶楽部様 感謝♡

マルコの家の子も達は、施設出身者や中途退学の子も達が多く、修学旅行に行っていない子どもが多いので、助成金が頂けたら、思い出づくりをしようね。と話していたら、なんと、花王ハートポケット倶楽部様より、助成金を頂く事が出来ました!!!!子どもと話し合って、温泉がいい!!というので、伊香保温泉に行ってきました!!男2人旅!!子どもは、施設長と親子のように旅行を満喫してきたようでした。美味しいものより、温かい温泉よりも、彼には、施設長と過ごせた時間が、何よりもいい思い出になったのではないかと思います。



同じく、花王ハートポケット倶楽部様より頂いた助成金で、大好物のお寿司を食べに行きました。「夜ごはん何食べたい?」と聞くと、100発100中「お寿司!」と答えるこのシャイボーイ。マルコの家でお寿司が出るのは、子ども達のお誕生日の日のみです。年に8回あるか無いかのその1日を待ちわびるのですが…今回は「旅行より廻っていないお寿司がいい!」というので、地元の有名なお寿司屋さんに行ってきました。大好物のお寿司を、誰かに遠慮することなく好きなだけ食べられたのは、彼以外の人達にはささやかな喜びに思えるかもしれませんが、自分1人の為だけに、時間とお金をかけて、望んでいる事を実現してくれた、というこの出来事は、彼にとっては特別な事となったかも知れません。

今回、このマルコ通信を作成しながら、私達は、本当に多くの方々に支えてもらっているんだな。という思いが溢れて来て、涙がこみ上げてきました。コンサートにしても、助成金にしても、協力して頂ける方達がいなければ、職員達だけでは、何も成し遂げられませんでした。子ども達の笑顔は、私達職員の潤滑油であり、活動力の源です。そして、その笑顔を作るのは、周囲の人々です。支えてもらえるという事は、幸せな事なのですね。

だから、笑顔になって、心あたたまりますよね。そんな事を改めて思った晩秋の頃でした。

マルコの家は、来年度も、プレゼンテーションを各地で行う予定です。どうぞ宜しくお願い致します。

by 関口栄利子